

JAFTMA

JAPAN FISHING TACKLE MANUFACTURERS ASSOCIATION

令和4年7月31日 発行 第87号

2022年日釣工会長挨拶

一般社団法人日本釣用品工業会は、フィッシングレジャーを通じて我が国の国民生活の向上、経済の活性化、自然環境の保全などさまざまな面から社会に貢献することを目的として設立されました。

以来30年以上、国際的な相互理解を図るとともに、釣りの魅力の発掘と普及、業界の発展に取り組んでおります。

世界中の人や企業が、SDGsで掲げる世界共通の目標のもと、国境、人種、信条を超え、持続可能社会の実現に向けて動き出した今、釣りがもたらす価値とその意義は、ますます高まっています。

大自然の中で生命と向き合い、対話することで得られる楽しみ、気づき、心身の癒し、そして自然への畏敬と共生の心。

すべてが、より豊かな未来社会を築く原動力です。

だからこそ私たちは、釣りの潜在的な可能性を追求してまいります。

釣りを愛する皆様に、もっと広く、もっと深く、サステナブルな釣りの魅力を提供していくために、必要なことは何か。

誰もが心地よくかつ安心安全に、釣りを楽しむために、どのような製品やコミュニケーションが必要なのか。

美しく豊かな釣場環境を次世代へ残すために、今、何をすべきなのか。

釣り人のため、社会のため、未来のため、これからも私たち釣用品製造業界の知恵と力を結集し、目標に向かって一つひとつをカタチにしてまいります。



一般社団法人
日本釣用品工業会
会長 大村 一仁

CONTENTS

大村新会長挨拶	P.1	第10回通常総会開催報告 臨時理事会報告 ①鳥野会長総会挨拶 ②新役員名簿 ③新組織図 ④新役員紹介 ⑤新理事紹介 ⑥退任役員紹介	P.2
第39回理事会開催報告	P.6	釣りフェスティバル2023出展募集開始	P.7
各委員会開催報告	P.10	事務局だより	P.10
		LOVE BLUE事業活動報告	P.8

目次

第10回通常総会開催報告

去る、令和4年6月15日（水）にフィッシング会館8階大会議室にて第10回通常総会が開催されました。開会后、島野容三会長がご挨拶し、ご来賓の経済産業省 製造産業局 生活製品課専門職大滝義彦様、係長船渡雄太様のご紹介があり、大滝様からご挨拶をいただいた後、議案審議に入りました。

第1号議案 令和3年度事業報告に関する件

議長の指名により、小松智昭専務理事が別添資料に基づき、第9期（令和3年度）事業報告をおこなった。議長がこれを議場に諮ったところ、満場異議なく可決承認した。

第2号議案 令和3年度決算報告に関する件

議長の指名により、小松智昭専務理事が別添資料に基づき、第9期（令和3年度）決算報告書を説明した。議長がこれを議場に諮ったところ、満場異議なく可決承認した。

第3号議案 令和3年度監査報告に関する件

議長の指名により、監事を代表して鈴木仁一監事が別添資料に基づき、第9期（令和3年度）の事業報告・決算報告・その他理事の職務執行に関する監査報告を行なった。

議長がこれを議場に諮ったところ、満場異議なく可決承認した

第4号議案 令和4・5年度役員選改選に関する件

議長より、理事および監事の全員が本通常総会を以て任期満了退任することになることから、役員選考委員会、大村委員長に新理事、新監事の提案を求め、別添の新理事、新監事を指名推薦した。議長がこれを議場に諮ったところ、満場異議なく原案通り可決承認した。

次いで議長は臨時理事会を開催し、定款第32条の規定に基づき、会長、副会長、専務理事、常任理事を選任した。また会計理事及び顧問の選任結果を別添の通り発表した。

第5号議案 令和4年度常勤役員の報酬に関する件

議長の指名により、小松智昭専務理事が別添資料に基づき、令和4年度常勤役員の報酬総額について説明をおこなった。議長がこれを議場に諮ったところ、満場異議なく可決承認した。

<報告事項>

1. 令和3年度公益目的支出計画実施報告書に関する件

議長の指名により、小松智昭専務理事が別添資料に基づき、令和3年度公益目的支出計画実施計画につき報告した。

2. 令和3年度公益目的支出計画実施報告書監査報告に関する件

議長の指名により、鈴木仁一監事が別添資料に基づき、令和3年度公益目的支出計画実施報告書に関する監査報告をした。

3. 令和4年度事業計画に関する件

議長の指名により、小松智昭専務理事が別添資料に基づき、第10期（令和4年度）事業計画を報告した。

4. 令和4年度収支予算に関する件

議長の指名により、小松智昭専務理事が別添資料に基づき、第10期（令和4年度）収支予算書を報告した。

5. 委員会活動報告に関する件

(1) LOVE BLUE委員会

議長の指名により、小島忠雄委員長が別添資料に基づき、LOVE BLUE委員会活動を、2021事業内容全般の紹介と共に報告があった。

① 島野会長、東京大学 住明正名誉教授、京都大学 松下和夫名誉教授が一堂に会し「地球・ひとのために私たちが出来ること」とのテーマ対談を行った。

② 事業開始から十年の節目となる、LOVE BLUEの“芯”について

現在進めている取り組みを一つ一つ着実にやろうとの信念で進めてきた。非常に厳しい中で、今まで釣りの関係と上手くいっていないところともコンタクトを取りながら“やらせていただく”というのが大事なこと。中々漁協等と釣り界は上手くいかないということをもう一回認識していただいて、これまで信頼関係を作って来つつあるところを大切に一つ一つ広げていって頂きたい。

釣りの未来を考えたとき、どうしてもこういう地道な活動をしていかなければならない。少しずつ広げて行きながら認知させる、される事業に早くなっていきたい。

(2) JAF実行委員会

議長の指名により、荒井一郎副委員長が別添資料に基づき、JAF実行委員会活動を以下の件について報告した。

① 釣りフェスティバル2022オンライン開催報告

② 釣りフェスティバル2023 in Yokohamaは3年ぶりのリアル開催を来る1月20日（金）から22日（日）

まで開催する

- ③ オンラインも継続し、それぞれの長所を活かし「より広く」「より深く」熱い釣りファンに釣りの魅力を伝える
- (3) 規格・安全委員会
議長の指名により、藤井治幸委員長が別添資料に基づき、規格・安全委員会活動を次の通り報告した。
- ① 日本小型船舶検査機構により6月以降開催となる「防災用呼気膨脹式浮力補助具の性能基準に関する検討委員会」へ、日釣工から委員として柿沼氏並びにライフジャケットメーカーとして高階救命器具(株)高階副社長(日釣工ライフジャケットWGリーダー)が参加する。
- ② 同検討委員会の目的は、防災用浮力補助具として市場に流通している製品へ統一した性能基準の策定や認証マーク等の検討となる。
- 詳細は、議事録及び第10回通常総会資料をご参照ください。

臨時理事会 開催報告

去る、令和4年6月15日(水)に、フィッシング会館7階会議室において臨時理事会が開催されましたのでご報告いたします。

- 第1号議案 令和4・5年度会長、副会長、専務理事、常任理事、会計理事の選任に関する件、定款の規定に則り審議の結果、別添のとおり承認されました。
- 第2号議案 顧問選任に関する件、定款の規定に則り審議の結果、別添のとおり承認されました。
- 第3号議案 令和4・5年度委員会組織及び委員長、委員選任に関する件、委員会運営規則に則り審議の結果、以下のとおり承認されました。

《委員会組織及び委員長》

- | | |
|------------------|------------|
| (1) LOVE BLUE委員会 | 大村 一仁 会長 |
| (2) J A F実行委員会 | 荒井 一郎 常任理事 |
| (3) 規格・安全委員会 | 藤井 治幸 常任理事 |
| (4) 市場調査委員会 | 岡田 信義 常任理事 |
| (5) 広報・組織委員会 | 櫻井 孝行 常任理事 |
| (6) 情報収集管理プロジェクト | 加藤 誠司 副会長 |
| (7) 海外戦略プロジェクト | 高階 義尚 常任理事 |

【報告事項】

- (1) 職層別規程に関する件
(2) 令和4年度理事会開催日程の確認
(3) その他
- ① 理事就任承諾書について
② (一社)日本釣用品工業会名義使用承諾に関する件
③ 会員代表者変更及び入・退会会員に関する件

第10回通常総会 島野会長のご挨拶

本日ここに、当工業会の第10回通常総会を開催するにあたり、皆様におかれましては、何かとご多用のところ、ご出席を賜わり誠に有り難うございます。日頃は、私どもの事業活動にご理解とご支援を賜り、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

国内の釣り業界を取り巻く環境は、この2年間で釣りが自然に触れ合う解放型のアウトドアスポーツである事が広く定着し、若者をはじめとした新規参加者が増加しました。釣具業界としてはとても喜ばしいことではありますが、それに比例して、釣り人のマナーに関する話題が頻繁に取り上げられるようになりました。私たちは、釣りのルールやマナー、釣り環境保全の重要性がより一層高まっていることを真摯に受け止めなくてはなりません。

こういった中、日本釣用品工業会は、釣りレジャーの地位向上のため、社会と共生できる釣りを目指し、国民生活を豊かにする釣りの創造に積極的に取り組み、釣り業界の発展に向けた活動を粛々と行っていかなくてはならないと考えております。



島野会長

引き続き、皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

次に、私たちが社会貢献事業として取り組む「つり環境ビジョンコンセプトに基づくLOVE BLUE事業」は公益財団法人日本釣振興会との協働事業として、釣り人並びにご参加企業261社の皆様のご協力により10年目を迎えることができました。あらためまして、心より御礼申し上げます。

これまでの水中クリーンアップ活動は着実に実績を重ね、昨年12月14日、北海道広尾町 村瀬町長へ表敬訪問を行い、北海道では初めてとなる感謝状を賜ることが出来ました。また、去る5月31日、気候変動の権威である、東京大学名誉教授 住明正 先生、京都大学名誉教授 松下和夫先生と、気候変動・これからの地球の未来、そして、LOVE BLUE事業についての対談を行い、6/4世界環境デーにその内容を世に発信致しております。

そのLOVE BLUE事業の社会的信用の基盤となるプロダイバーの水中清掃は全国各地からのご要望を基に、10年間で36道府県135カ所1179日で実施しています。昨年度は、宮城県から、第40回全国豊かな海づくり大会の放流式典海域の水中清掃をご要望いただき、大会記念行事として実施をさせていただきました。

また、釣り人の皆さまに喜んで頂けるよう取り組む、専門機関と連携した放流事業も全国実施5年目となり、累計17自治体からのご要望を基に約1650万尾の放流を実施できました。釣り場の拡大を目指して取り組む、水産庁後援内水面釣り場拡大事業のワカサギふ化施設の支援も、全国実施5年目となり、累計21団体へ施設整備の支援を行っております。

これからも、釣りの未来を拓くために、地球環境保全活動並びに、釣りの社会的地位の向上に努めて参ります。

主要事業であります、2022年の釣りフェスティバルは、関係者の皆様の安全と安心を最優先に、2年連続のオンライン開催を1月21日（金）から23日（日）までの3日間、89社／団体の出展を頂き実施いたしました。公式サイトには、24万人以上の方に来訪して頂く事ができました。また、日本全国はもとより、海外91か国からアクセスがあり、注目度の高さを感じる事が出来ました。これも偏にご出展の皆様のご協力があったの事と深く感謝いたしております。

さて、来る2023年の釣りフェスティバルは、多くの熱い釣りファンの期待に応えるため、3年ぶりとなるリアル開催を実施します。ニュースタンダードとも言える新しい時代を迎え、釣り業界が一体となり、釣りファンとともに「釣り文化」を盛り上げ、釣りフェスティバルの新しい価値と可能性を追求してまいります。また、感染対策のガイドラインを遵守し、万全の運営体制を取り、皆様が安心して参加していただける釣りフェスティバル2023を開催致します。

その他、今年度の事業につきましても、円滑な推進に努めるとともに、新たな施策へも積極的に取り組んで参ります。

最後に、当工業会といたしましても、関係各社のご支援のもと、今まで以上に事業活動を積極的に推進し、業界の発展を図って参る所存ですので、何卒、倍旧のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます、私の挨拶とさせていただきます。



経済産業省 専門職 大滝義彦様



新役員に就任された皆様

後方左から 清本弘哲氏 鳥居祐二氏 小野俊郎氏 池永朋也氏
前方左から 加藤誠司氏 大村一仁会長 島野泰三氏



新3役の皆様

左から 加藤誠司副会長 大村一仁会長 鈴木一成副会長 小松智昭専務理事

JAFTMA NEWS

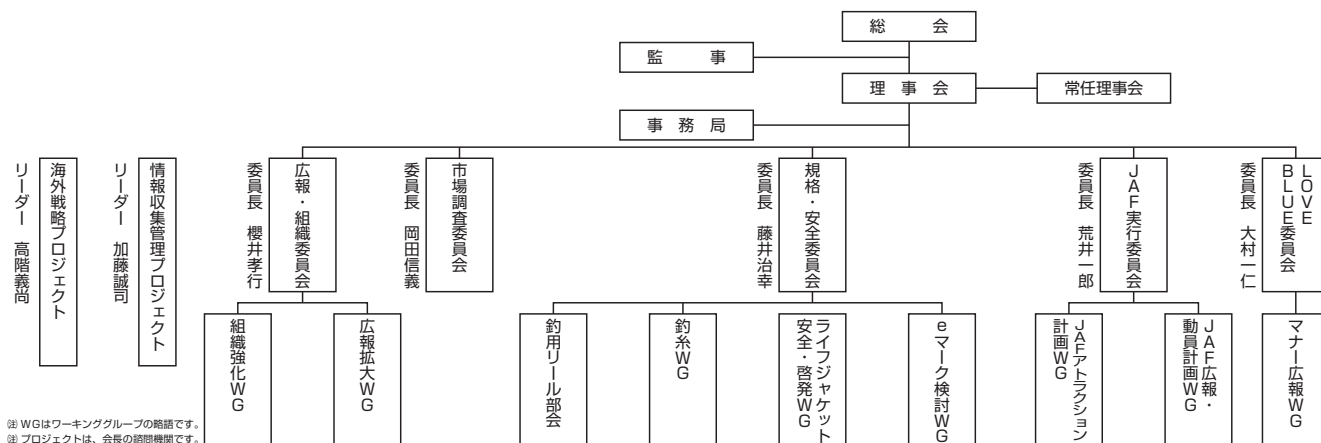
一般社団法人 日本釣用品工業会 令和4年度・5年度 役員名簿

役職	氏名	所 属	
		法人・団体名	役 職
会 長	大 村 一 仁	富士工業(株)	代表取締役社長
副 会 長	鈴木 一成	グロープライド(株)	代表取締役社長
	加藤 誠 司	(有)フレックスルアーテクノロジー	代表取締役
専 務 理 事	小 松 智 昭	(一社) 日本釣用品工業会	
常 任 理 事	藤 井 治 幸	(株)がまかつ	代表取締役社長
	櫻 井 孝 行	櫻井釣漁具(株)	代表取締役社長
	塩 澤 直 人	(株)天龍	代表取締役社長
	岡 田 信 義	マルキユー(株)	代表取締役社長
	高 階 義 尚	高階救命器具(株)	代表取締役社長
	荒 井 一 郎	(株)バリバス	代表取締役社長
	島 野 泰 三	(株)シマノ	代表取締役社長
理 事	鈴木 健 一	(株)スズミエンタープライズ	代表取締役社長
	中 道 成 之	(株)オーナーぱり	代表取締役
	五十嵐 正 弘	(株)アムズデザイン	代表取締役
	松 下 和 夫	京都大学	名誉教授
	齒 朶 由 美	(株)ハヤブサ	代表取締役社長
	中 野 郁 夫	(株)サンライン	代表取締役
	河 原 也 寸 志	(株)ヤマリア	代表取締役社長
	吉 川 祥 一	ピュア・フィッシング・ジャパン(株)	代表取締役
	鳥 居 祐 二	(株)スミス	代表取締役社長
	小 野 俊 郎	(株)ジャッカル	代表取締役社長
	清 本 弘 哲	明邦化学工業(株)	代表取締役
	池 永 朋 也	(株)エイテック	代表取締役社長
	監 事	森 幹 雄	(株)もりげん
土 肥 正 芳		(株)土肥富	代表取締役社長
酒 井 誠 一		(株)ティムコ	代表取締役社長
顧 問	島 野 容 三	(株)シマノ	代表取締役会長兼CEO

6月15日に開催された臨時理事会において、新たにマナー広報WGが新設されました。

釣り業界を取り巻く課題への迅速な対応と、委員会・部会活動の活性化及び機動的かつ効率的な活動を図り、当工業会の事業推進を図ってまいります。

一般社団法人日本釣用品工業会：令和4年・5年度組織図



退任役員のご紹介

退任された役員の皆様には長年にわたり当工業会の発展にご尽力賜りありがとうございました。これからもご指導のほどよろしくお願いいたします。



会長を18年務められた 島野容三氏



理事を16年務められた 篠倉庸良氏



理事・監事を16年務められた 鈴木仁一氏



顧問及びLOVE BLUE委員長を10年務められた 小島忠雄氏

第39回理事会開催報告

去る令和4年5月26日(木)にオンライン会議システム&リアル開催の併用方式にて、第39回理事会が開催されましたので概要を報告いたします。

- 第1号議案 令和3年度事業報告に関する件
議長の指名により、事務局が別添資料に基づき説明を行い、満場一致で承認された。
- 第2号議案 令和3年度決算報告に関する件
議長の指名により、事務局が別添資料に基づき、貸借対照表及び正味財産増減計算書の説明を行い、満場一致で承認された。
- 第3号議案 令和3年度監査報告に関する件
議長の指名により、鈴木仁一監事が令和4年5月20日(金)に実施した令和3年度決算監査の方法、内容及び監査結果について報告を行い、満場一致で承認された。
- 第4号議案 令和3年度公益目的支出計画実施報告に関する件
議長の指名により、事務局が別添資料に基づき説明を行い、満場一致で承認された。
- 第5号議案 令和3年度公益目的支出計画実施報告書監査報告に関する件
議長の指名により、鈴木仁一監事が令和4年5月20日(金)に実施した令和3年度決算監査の方法、内容及び監査結果について報告を行い、満場一致で承認された。
- 第6号議案 会員代表者変更及び入・退会会員に関する件
議長の指名により、事務局が別添資料に基づき以下の説明を行い、満場一致で承認された。

【会員代表者変更】

- ・フィッシュ・アンド・ハート株式会社
新代表取締役 小澤 哲史氏
前代表取締役 藤原 忠雄氏
- ・東レ・モノフィラメント株式会社
新代表者：片岡 孝一郎氏
役職名：理事
前代表者：山崎 一彦氏
- ・株式会社矢野経済研究所(賛助会員)
新代表者：三石 茂樹氏
役職名：フェロー(特別研究員)
前代表者：水越 孝氏
- ・株式会社ゴーセン
新代表者：岸本 紘和氏(きしもと ひろかず)
役職名：フィッシング部 部長
前代表者：田淵 光仁氏

【社名変更及び住所変更届】

新社名：株式会社M-ONE
新住所：〒590-0964 大阪府堺市堺区新在家東1-1-28 1F
旧社名：有限会社エムワントレーディング

【住所変更届】

- ・クレハ合繊株式会社
新住所：〒321-0223 栃木県下都賀郡壬生町元町1-63
- ・井の口物産株式会社
新住所：〒500-8223 岐阜県岐阜市岩地1-4-21 シャ
ルムコートA101号
- ・株式会社ジャクソン
新住所：〒422-8033 静岡県静岡市駿河区登呂6-9-50

【入会申込】

- ・株式会社スペースキー
〒150-0031 東京都渋谷区桜丘町29-12 渋谷CHビル1階
代表者名：佐藤 祐輔氏(さとう ゆうすけ)
業種・取扱品：WEBサイトの企画、制作、管理、
運営(CAMP HACK, YAMA HACK, TSURI
HACK, CYCLE HACK, sotoshiru)

【退会届】

- ・フィッシュ・アンド・ハート株式会社
代表者名 小澤 哲史氏

- 第7号議案 (一社)日本釣用品工業会名義使用許諾に関する件
議長の指名により、事務局が別添資料に基づき説明を行い、満場一致で承認された。
- 第8号議案 令和4年度常勤役員の報酬に関する件
議長の指名により、事務局が別添資料に基づき説明を行い、満場一致で承認された。
- 第9号議案 次期役員選考に関する件
議長の指名により、事務局が役員選考委員会にて新役員候補の選定を行い、今総会での承認に向け候補者名が挙げられることが報告され、満場一致で承認された。
- 第10号議案 第10回通常総会審議事項及び報告事項に関する件
議長の指名により、事務局が別添資料に基づき説明を行い、満場一致で承認された。
- 第11号議案 その他報告承認事項
議長の指名により、委員会及びプロジェクト活動報告を各委員長並びに事務局が別添資料に基づき説明を行い、満場一致で承認された。以上。

釣りフェスティバル

Fishing Fest. 2023 in Yokohama

～ 出展社募集始まる ～

JAF実行委員会（荒井一郎委員長）では、来る2023年1月20日（金）より1月22日（日）までの3日間、パシフィコ横浜（みなとみらい21、神奈川県横浜市）展示ホールで、「釣りフェスティバル2023 in Yokohama」を開催いたします。

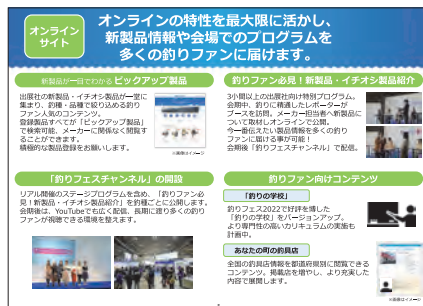
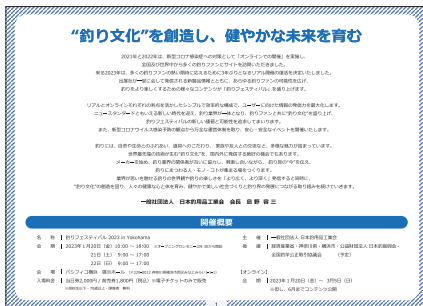
2023年の釣りフェスティバルは、多くの釣りファンが待ち望んでいた3年ぶりのリアル開催を行います。「新製品にいち早く触れてみたい」、「面白い製品を見つけたい」、「プロアングラーに会いたい」など、会場は釣りファンの熱気に包まれることでしょう。

また、オンラインサイトでも「釣りフェスティバル2023」を同時に開催致します。リアル会場へ出展を申し込まれた企業・団体様は、オンラインサイトを情報発信の場として有効に活用していただけます。

ご出展をご検討されている皆様におかれましては、是非「釣りフェスティバル2023 in Yokohama」に積極的なご支援、ご出展を心からお願い申し上げます。

【開催概要】

名称：釣りフェスティバル2023 in Yokohama
 開催期日：令和5年1月20日（金）～1月22日（日）
 オンラインサイト公開期間：令和5年1月20日（金）～3月5日（日）
 会場：パシフィコ横浜展示ホール
 公式HP：<https://www.tsurifest.com/>



～ 出展募集説明会開催報告 ～

令和4年6月30日（木）に、「釣りフェスティバル2023 in Yokohama」に出展をご検討いただいている企業・団体様（62社/72名）に対しオンラインによる「出展募集説明会」を開催致しました。

JAF実行委員会荒井一郎委員長の挨拶の後、河原也寸志副委員長より、3年ぶりとなるリアル会場での開催に加えて、オンラインサイトでも同時に開催する「釣りフェスティバル2023」の開催コンセプトや概要の説明がありました。また、運営代理店から、出展形態、協賛メニュー、出展規定、申込から開催までのスケジュールの説明をおこないました。

LOVE BLUE委員会からのお知らせ

2021年度つり環境ビジョンコンセプトに基づくLOVE BLUE事業報告書が完成致しました。

当工業会及び（公財）日本釣振興会が行った事業を取りまとめました。ぜひご覧ください。

今年度も会員企業の皆様、参加企業・団体の皆様のご理解とご協力のもと、つり環境ビジョンコンセプトに基づくLOVE BLUE事業は、日本全国において公平に優先三事業（水辺をキレイに、サカナを守ろう、フィールドを広げよう）を推進して参ります。何卒よろしくお願い申し上げます。



LOVE BLUEマナー広報

これから釣りを始めようとしている人や釣りを始めたばかりの人（エントリー層）へ。

そして、波及的に釣り人の皆さんへも伝わるように取り組んで参ります。

Huff Post JapanとBuzz Feed Japanで記事等が掲載されますので、是非ご確認ください。

釣りマナー向上大使就任発表イベント実施

2022年6月23日（木）にて、マナー広報強化のため、釣りマナー向上大使就任発表イベントを行いました。マナーを守って釣りをより楽しんでいただくことを啓蒙するため、

当日は釣りマナー向上大使にミキの垂生さん、釣りマナー向上サポート大使にミキの昴生さんが就任され、トークセッションや釣り用語&マナークイズを実施しました。また、就任にあたり、大村一仁 会長より、お2人のネーム入りライフジャケットが贈呈されました。

また、TV：9番組・新聞：3紙・WEB：147件と多くのメディアに掲載いただきました。

環境系トップリーダーとの鼎談

2022年6月5日（日）『世界環境デー』に先駆け、5月31日（火）に東京大学にて、『環境保全活動に取り組む、釣り業界団体のトップ』・『気候変動の権威』・『環境政策の第一人者』が一堂に会し、世界環境デーに合せ、『地球・ひとのために私たちが出来ること』とのテーマで対談を行いました。

つり環境ビジョンコンセプトに基づくLOVE BLUE事業との社会貢献事業・環境保全活動の取り組みを続けて十年を迎えた、一般社団法人日本釣用品工業会 島野容三 会長、気候変動研究の権威である東京大学 住 明正 名誉教授、国連気候変動枠組条約や京都議定書の交渉にも参画した環境政策の第一人者の京都大学 松下和夫 名誉教授は、この対談の中で、地球温暖化が進むこと。国内や世界各地では集中豪雨など異常気象の頻度が増え、今後は世界の穀倉地帯の干ばつが危惧される。そして環境問題に一発逆転の秘策はない。地道な努力がやはり大事。その為に私たちができることについて、それぞれの視点から対談を行いました。

実際の対談内容についてはリリースをしておりますので、是非ご確認ください。



対談者
右から、一般社団法人日本釣用品工業会 島野容三 会長（当時）、
東京大学 住 明正 名誉教授、
京都大学 松下和夫 名誉教授

LOVE BLUE プロダイバーによる水中クリーンアップ活動

プロダイバーによる水中クリーンアップ活動は、（4月から6月）では新規実施場所2箇所を含む、1都8県で55日間実施（2022年度累計：1道8県55日実施 6月末現在。）

2022年度も社会情勢などを見極めながら、引き続き、安全作業を最優先に、ご関係の皆様と連携しながら実施して参ります。

JAFTMA NEWS

4月～6月までの実績

期間	実施日数	実施場所
4/1～4/5	5日間	神奈川県平塚市 平塚漁港新港
4/8～4/12	5日間	神奈川県鎌倉市 腰越漁港
4/15～4/19	5日間	埼玉県桶川市 川田谷沼
4/22～4/26	5日間	岐阜県海津市 東大江川
5/9～5/12	4日間	石川県金沢市 金沢港金石地区船溜
5/14～5/18	5日間	富山県黒部市 黒部漁港
5/20～5/23	4日間	福井県坂井市 崎漁港
5/26～5/30	5日間	山形県鶴岡市 堅苔沢漁港
6/2～6/6	5日間	神奈川県大磯町 大磯港
6/12～6/15	4日間	沖縄県読谷村 都屋漁港
6/20～6/23	4日間	北海道えりも町 歌別漁港
6/26～6/29	4日間	北海道興部町 沙留漁港

LOVE BLUE専門機関と連携した放流事業

専門機関と連携した放流事業では今年度も引き続き、釣り人の皆様に喜んで頂ける魚種を放流しております。

都道府県	魚種	放流尾数	放流場所	放流日
広島県	クロメバル	10万尾	深江漁港地先	4月26日
			横島漁港地先	4月27日
滋賀県	ゲンゴロウブナ	250万尾	早崎町水田	5月13日
			安土町常楽寺水田	
			新旭町水田	5月22日
			新旭町藁園水田	
宮崎県	ホンモロコ	400万尾	今津町深清水水田	5月15日
			志那中町水田	
			下寺町水田	
			志那町水田	
宮崎県	カサゴ	8万3333尾	山賀町水田	5月17日
			下笠町水田	5月20日
			島野浦漁港地先	5月21日
			門川漁港地先	5月18日
宮崎県	カサゴ	8万3333尾	南浦漁港地先	5月24日
			北浦漁港地先	5月26日
			宮之浦漁港地先	6月7日



北海道えりも町 歌別漁港



北海道興部町 沙留漁港



広島県 クロメバル10万尾



滋賀県ゲンゴロウブナ250万尾・ホンモロコ400万尾



宮崎県 カサゴ8万3333尾

水産庁後援 つり環境ビジョンコンセプトに基づくLOVE BLUE事業 内水面釣り場拡大事業（ワカサギ）

水産庁後援 内水面釣り場拡大事業（ワカサギ）は、本年度も、全国からの応募受付（期間6/20～9/30）を開始致しました。応募要領は水産庁から各都道府県内水面担当部局、全国内水面漁業協同組合連合会から各都道府県内水面漁業協同組合連合会等、さらに、国立研究開発法人水産研究・教育機構 水産技術研究所 環境・応用部門沿岸生態システム部内水面グループから各都道府県水産試験場へ配布・周知されています。

地球環境基金 企業協働プロジェクト LOVE BLUE助成

独立行政法人環境再生保全機構 地球環境基金と連携したLOVE BLUE助成では、本事業で採択された水辺の環境保全を目的に活動する12団体（2015年度助成開始以来累計34団体）が、各地で活発に活動されています。各団体の皆様からは「LOVE BLUE助成のおかげで、より充実した活動が行えており、釣り人の皆様に深く感謝します！」とお喜びのお言葉をいただいております。引き続き、水辺を守る皆様と連携しながら展開して参ります。

規格・安全委員会

ライフジャケット安全・啓発ワーキンググループ

規格・安全委員会LJWG（高階才文リーダー）では、ライフジャケット着用の啓蒙から点検の重要性を伝えるにあたり、着用の啓蒙や点検の重要性を伝える活動を引き続き、実施して参ります。

広報・組織委員会

組織強化WG

～会員向け初回無料法律相談の実施～

会員の皆様へ、初回無料にて法律相談をご利用頂けるサービスのご提供を行っております。初回無料法律相談の詳細は、日釣工HPの会員専用ページをご覧ください。

会員動向

〈賛助会員新規入会〉

株式会社スペースキー

住 所：〒150-0031 東京都渋谷区桜丘町29-12 渋谷CHビル1階
代表者：代表取締役社長 佐藤 祐輔 氏

〈住所変更〉

クレハ合繊株式会社

新住所：〒321-0223 栃木県下都賀郡壬生町元町1-63
新TEL：0282 (82) 2111 新FAX：0282 (82) 2845

〈会員代表者変更〉

東レ・モノフィラメント株式会社

新代表者：片岡孝一郎 氏（役職：理事）
前代表者：山崎 一彦 氏

井の口物産株式会社

新住所：〒500-8223 岐阜県岐阜市岩地1-4-21 シャルムコートA101号
新TEL：058 (215) 0636 新FAX：058 (245) 4476

株式会社矢野経済研究所（賛助会員）

新代表者：三石 茂樹 氏（役職：フェロー（特別研究員））
前代表者：水越 孝 氏

株式会社ジャクソン

新住所：〒422-8033 静岡県静岡市駿河区登呂6-9-50
新TEL：054 (270) 8097 新FAX：054 (270) 8098

株式会社ゴーセン

新代表者：岸本 紘和 氏（役職：フィッシング部 部長）
前代表者：田淵 光仁 氏

株式会社BOZLES

新住所：〒460-0008 愛知県名古屋市中区栄3-8-120 杉本ビル6F
新TEL：050 (3318) 0871 FAX（変更なし）：052 (501) 0872

〈社名変更及び住所変更〉

株式会社M-ONE

新住所：〒590-0964 大阪府堺市堺区新在家町東1-1-28 1階
新TEL：072 (242) 4525 新FAX：072(242)4526

旧社名：有限会社エムワントレーディング

第39回理事会で次のとおり、退会1社が承認されました

フィッシュ・アンド・ハート株式会社

代表者：小澤 哲史 氏
住 所：〒520-0516 滋賀県大津市南船路188
TEL：077 (592) 8121 FAX：077 (592) 0107



事務局だより

- ◆役員改選に伴い委員会・WGの委員も同様に改選になりますので、各会員企業様には委員の選任をお願いさせていただきました。選任された委員の方々には、この先2年間の委員会活動にご協力のほどよろしくお願いいたします。
- ◆統計開始以来、最も早い梅雨明けとともに、40℃以上の酷暑に見舞われている地域もあるなど、気候変動は世界規模で様々な変化をもたらしています。
皆様におかれましては厳しい暑さが続きますが、ご自愛のほどお願い申し上げます
- ◆当工業会では、8月12日（金）、8月15日（月）から16日（火）を夏季休暇とさせていただきます。ご不便をお掛けしますがよろしくお願いいたします。

JAFTMA
JAPAN FISHING TACKLE MANUFACTURERS ASSOCIATION

一般社団法人
日本釣用品工業会

〒104-0032東京都中央区八丁堀2-22-8日本フィッシング会館5F
TEL 03 (3555) 0101 (代表) FAX 03 (5542) 2929 <http://www.jaftma.or.jp/>